

【2022年度 学生交流委員会 事業計画】

委員長校 : 神戸常盤大学

副委員長校: 神戸親和女子大学

委員校: 芦屋大学、関西国際大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸市看護大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸常盤大学短期大学部、頌栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路大学、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学 計25校

<目的>

●大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について事業推進を行う。

●取組課題③「大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進」

年間を通し各委員校からの提案を協議し、大小問わず、魅力的、そして学生が地元地域への理解を深め、魅力を感じることができるプログラムを予算範囲内で可能な限り実施し、学生交流を活性化させることを目的とする。

上記取組を推進する体制の構築並びに、必要なプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

<内容>取組課題③に対する「個別取組」は、下記の通り。

1. テーマ型の学生交流プロジェクトの実施

他大学や地域・企業との連携・協働によるプログラムへの参加は、学生に大きな教育効果があるとの考えから、大学の枠を超えたテーマを設定した学生交流や活動を促進するプロジェクト全体を「WILL BEプロジェクト」の総称で位置付け、実施する(例: 神戸青年会議所ほか、地元企業・団体等と連携した取組など)。主体性をもって活動に取り組む学生を支援する仕組みを作ることによって学生の成長の場とする。

2. 加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施

加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報では、様々なメディアでの告知やコンソHPへの記事掲載を計画・実施する。CMや掲載文を考えることで自主性や文章構成力を高めることを目的とする。地域で若者が活躍する姿を周知することにより、地域の活性化のための貢献活動に取り組む。併せてコンソの認知度を高める

また事業の実施体制として、ユニット制での実施を継続して実施する。上記2事業に基づく2ユニットのいずれにも全委員校が参加し、ユニットごとに企画立案から多くの加盟校が主体的に参画することにより、学生交流の実質化に繋げる。

<期待される効果>

他大学の学生との交流、社会人との交流等の場を提供することによる効果は以下の通り。

1. 学生が地域・企業との連携・協働を通じた社会貢献活動に、地元企業等と一緒に活動することで地元企業と地域の魅力を直に感じ、理解を深める効果が期待できる。

2. 参加した学生に様々な交流、広報活動を促すことにより、学生自らが他大学の学生と協働し、企画を実現することで主体性・実行力・発信力が向上する。また学生がメディア等を活用した周知に取り組むことで、自主性や文章構成力等を高めることを目的とする。併せてコンソの認知度を高める。

上記2つの取組により、コンソ加盟校の学生において本事業での経験が大学4年間の生活の充実に資する効果が期待できる。

課題③ 大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進		予算額
取組1	WILL BEプロジェクト 「テーマ型の学生交流プロジェクト」	1,100,000円
取組2	学生発信ブランディング 「加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報」	850,000円

【2022年度 学生交流委員会 事業計画(課題③取組1-1)】

【③取組1】達成目標	各年参加者数50名以上
【③取組1】活動指標	参加加盟校数10校以上／年

課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進		
達成目標 【③取組1-1】	参加学生数20名以上		
課題を解決する 取組概要 【③取組1-1】	テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 〈WILL BE プロジェクト〉①地元企業と連携した地域活動(連携先:神戸青年会議所)		
活動指標 【③取組1-1】	イベントへの企画段階から参加し、ブース出店等を1回以上		
内容 (計画)	<p>◆神戸市、神戸青年会議所、企業、大学が連携し、兵庫・神戸のまちが持続性ある成長を可能にするため未来を担う人材＝大学生に兵庫・神戸の魅力を感じてもらう機会を提供する。</p> <p>〈内容〉兵庫県、神戸市、神戸青年会議所ほかが実行委員会を形成し、主催される「みなとまつり」、そして今年度初めて開催となる「Autumn Festival in KOBE」にそれぞれ楽天ヴィッセル神戸株式会社と株式会社マルヤナギ小倉屋と企画から協力し、ブース出店を行う。</p> <p>【みなとまつり】 〈開催日〉2022年7月16日(土)、7月17日(日) 〈募集対象〉加盟校学生 ※団体・個人問わず</p> <p>【Autumn Festival in KOBE】 〈開催日〉2022年9月23日(金・祝) 〈募集対象〉加盟校学生 ※団体・個人問わず</p> <p>※どちらか一方の参加でもOKとする。 ※希望者多数の場合は、それぞれのイベントへ振分ける可能性有。</p>		
新しい試み等 (事業計画に記載)	2022年より中長期計画第Ⅱ期がスタート。全てが新しい取組(試み)となる。		
事業収支	収入(円)	支出(円)	収支(円)
	1100000円		
			備考 取組1-1、1-2、1-3 の合計
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】
<p>■自己評価基準 (対到達目標)</p> <p>4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った</p>	<p>■自己評価基準 (対継続性)</p> <p>4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき</p>		
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に 反映)			

【2022年度 学生交流委員会 事業計画(課題③取組1-2)】

【③取組1】達成目標	各年参加者数50名以上□
【③取組1】活動指標	参加加盟校数10校以上／年

課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
達成目標 【③取組1-2】	参加学生数30名以上			
課題を解決する 取組概要 【③取組1-2】	テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 〈WILL BE プロジェクト〉②地域子育て支援拠点・こどもの居場所でのボランティア等活動			
活動指標 【③取組1-2】	参加団体5団体以上。個人参加15名以上。			
内容 (計画)	<p>◆神戸市と大学が連携し、設置している市内の「地域子育て支援拠点」や「こどもの居場所」でのボランティア活動</p> <p>〈内容〉加盟校が連携して、コンソ加盟校の学生がボランティア活動や地域貢献活動に参加しやすい場、そして学習成果を発表出来る場を提供する。自学のプログラムやフィールドを加盟校の他大学の学生にも開放し、学生間の交流を促進する。 ・2022年度:神戸市内5拠点【ときわんモトロク(中央区・元町六丁目商店街)、ときわんノエスタ・てらこやノエスタ(兵庫区・ノエビスタジアム神戸)、ときわんクニツカ・てらこや(長田区・アスタくにづか4番館)】</p> <p>〈開催時期〉2022年6月～2023年3月(予定) 〈募集対象〉加盟校学生 ※団体・個人問わず</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)	2022年より中長期計画第Ⅱ期がスタート。全てが新しい取組(試み)となる。			
事業収支	収入(円)	支出(円)	収支(円)	備考
	1100000円			取組1-1、1-2、1-3の合計
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
■自己評価基準 (対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った		■自己評価基準 (対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に 反映)				

【2022年度 学生交流委員会 事業計画(課題③取組1-3)】

【③取組1】達成目標	各年参加者数50名以上
【③取組1】活動指標	参加加盟数10校以上／年

課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進
達成目標 【③取組1-3】	参加学生数10名以上
課題を解決する 取組概要 【③取組1-3】	テーマ型の学生交流プロジェクトの実施 〈WILL BE プロジェクト〉③「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト」
活動指標 【③取組1-3】	参加学生のチーム活動／月1回以上(活動期間中)

内容 (計画)	<p>◆「ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト」 地域の活性化に資する人材育成のためのプログラムとして、地域スポーツ振興をテーマに企画実施する。</p> <p>〈内容〉バレーボールVリーグに所属する「ヴィクトリーナ姫路」が抱える事業課題について、ゼミ単位もしくは大学の垣根を越えて構成した学生プロジェクトチームで課題解決につながる企画を立案し、ヴィクトリーナ姫路へのプレゼンテーションを経て、その企画を学生が主体となってホームゲームで実施し、その効果を検証する。</p> <p>学生にとっては、大学講義等で学んだことを実践する機会となり、深みのある学びが期待できる。また、本事業を通じて、社会人として求められるスキルであるマーケティング思考やプロジェクトマネジメントを習得するきっかけとする。</p> <p>〈活動期間〉2022年8月～12月(予定) 〈募集対象〉加盟校学生</p>
------------	--

新しい試み等 (事業計画に記載)	2022年より中長期計画第Ⅱ期がスタート。全てが新しい取組(試み)となる。
---------------------	---------------------------------------

事業収支	収入(円)	支出(円)	収支(円)	備考
	1100000円			取組1-1、1-2、1-3 の合計

自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	

- | | |
|---|--|
| <p>■自己評価基準
(対到達目標)</p> <p>4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った</p> | <p>■自己評価基準
(対継続性)</p> <p>4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき</p> |
|---|--|

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に 反映)	
------------------------------------	--

【2022年度 学生交流委員会 事業計画(課題③取組2)】

【③取組2】達成目標	加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施
【③取組2】活動指標	情報公開数40取組以上／年

課題③	大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進			
達成目標【③取組2】	情報公開数40取組以上／年			
課題を解決する取組概要【③取組2】	加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施			
活動指標【③取組2】	各加盟校からの情報提供／年1回以上			
内容 (計画)	<p>◆地域の活性化に関わる加盟校学生の取組事例の紹介 大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに、加盟校の学生が地域の活性化に関わる取組事例を公開する。また必要に応じて、様々なメディア等への告知を検討・計画する。</p> <p><内容> 加盟校からの情報提供をもとに、地域で若者が活躍する姿を周知することにより、加盟校による地域の活性化のための貢献活動に取り組む。</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)	2022年より中長期計画第Ⅱ期がスタート。全てが新しい取組(試み)となる。			
事業収支	収入(円)	支出(円)	収支(円)	備考
	850000円			
自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	
■自己評価基準 (対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った		■自己評価基準 (対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	
------------------------------------	--